

平成25年度第4回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

- 1 日 時：平成26年3月11日（火）午後2時30分～午後4時00分
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
出 席：理事長 五百旗頭真
副理事長（学長）古賀 実
理事（事務局長）岡本哲夫
理事 小栗宏夫
委員 関 幸枝

委員 丸本文紀※
委員 安田公寛※

欠 席：委員 石原靖也

事務局：田代次長、花村企画調整室長、福永総務課長、安達学生支援課長、
前田地域連携・研究推進センター事務長、野尻学術情報メディアセ
ンター事務長、山瀬総務課総務班長、石松総務課財務班長、山田企
画調整室参事

※印は書面をもってあらかじめ意思を表示した委員であり、経営会議運営規
程第3条第1項の規定により出席者とみなす。

- 2 開会（進行：田代次長）
丸本委員、安田委員からは事前に意見書が提出されており、石原委員は急遽
欠席となったもの。会議の定足数は満たしている旨の説明があった。
- 3 理事長あいさつ
- 4 議題（議長：五百旗頭理事長）

（1）審議事項

① 平成26年度年度計画（案）について

事務局から資料1により説明。年度の業務実績については暫定的なもので、次回の経営会議で御審議いただく予定であり、今回は、平成26年度の年度計画について御審議いただきたい。

委員から、指標、現状値、目標値の欄に記載があるものとないものが存在することについて質問があり、事務局から、この欄については対外的なものではなく、学内での内部目標として検討したものである旨を回答。

委員からは、自分たちの目標を自分たちで作って管理するということは

非常に良いことなのでむしろ大事なのではないかとの意見が出された。

委員から、同窓会として、卒業生の情報が無く先輩たちはどういう所に就職していますかと聞かれても答えられないなど困っている旨の発言があった。事務局からは卒業時に最終進路報告書を提出させており、就職先は把握しているが、現在収集している情報を同窓会に渡すことは収集の目的外使用に当たる恐れがある旨の回答があった。

議事は了承された。

② 平成26年度予算（案）について

事務局から資料2により説明。予算の特色として太陽光発電設備の設置、水銀に関する研究を行う外国人留学生の支援、県南フードバレー構想の推進に向けた取組みがあるなどの説明があった。

委員からは7月からの給与カットの予算への影響について質問が出されたが、事務局から当初予算ベースでH25とH26を比較しても反映されない旨の説明がなされた。

委員から、英語合宿の予算が少ないのではないかと意見が出された。

事務局から、まずは少なくともこの予算からスタートということである旨の説明があった。

昨年度は10日間だったものを、カリキュラムを整理し合宿4日間として、事前事後の学習を含め全体を1週間程度とし、参加者の幅を広げたいとの話に対し、委員からは、もっと長くした方が良いのではないかと、今年度合宿を経験した学生を来年度の合宿に活用するなど考えられないかといった意見が出された。

議事は了承された。

③ 教員採用に係る枠取りについて

事務局から資料3により説明。昨年6月に審議したものだが、公募の結果応募者が少なく適任者が見つからなかったため、条件を見直し、再公募することとしたものである旨の説明がなされた。

議事は了承された。

④ 熊本県立大学水銀研究留学生奨学金制度（仮称）の創設について

事務局から資料4により説明。県は、水銀に関する水俣条約が採択されたことを受け、先導的な取組みを実施するため、専門家育成支援のための補助金を予算化。この補助金を財源として本奨学金を創設するとの説明がなされた。

議事は了承された。

⑤ 外国人留学生学費免除制度について

事務局から資料5により説明。本制度により学費を免除した場合、大学が負担する形になる旨の説明があった。

議事は了承された。

⑥ カリキュラム研修制度の新設及び未来基金からの一部経費助成について

事務局から資料6により説明。研修体系の再編と併せ、若手研究者、女性研究者の育成のため未来基金を原資とする経費の助成金を設置する旨の説明がなされた。

委員からは、若いうちに世界へ出て見聞を広げ、同分野のリーダーと言われる人と交わりを持った人ほど良い研究をする場合が多い。非常に良いことではないかとの意見が出された。

議事は了承された。

⑦ プロパー職員の採用について

事務局から資料7により説明。平成26年4月1日付で2名の事務職員の採用を行う旨の説明がなされた。

議事は了承された。

(2) 報告事項

⑧ 教員の採用及び再任について

事務局から資料8により説明。平成26年4月1日付で5名の教育職員の採用を行うこと、1名の教育職員の再任を行うことに係る報告がなされた。

⑨ 学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長、コース長等の選考について

事務局から資料9により平成26年度の体制について説明がなされた。

5 その他

理事長から、経営会議の委員については、今年3月末で任期が切れることとなるが、引き続き再任という形をお願いしたい旨の発言があり、出席されていた関委員に了解いただいた。

6 閉会

平成26年度の経営会議日程が示された。